

# 市議会だより

発行/下妻市議会 発行責任者/議長 廣瀬 榮 編集/広報広聴委員会  
〒304-8501 下妻市本城町2-22 電話(0296)43-2111(代) 内線1110~1112

### 今月号のあんない

定例会	2~3
議長就任のあいさつ	3
意見書	4
一般質問	5~13
議会日誌	13
永年勤続議員表彰	14
オンライン行政視察の受け入れ	14
次回定例会予定	14



## 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成 ~かしこい子 やさしい子 たくましい子~



### ~学校紹介~ 【騰波ノ江小学校】



騰波ノ江小学校は、全校児童119名、水田と梨畑の豊かな自然に囲まれた創立98年を迎える歴史と伝統のある学校です。

騰波ノ江小学校では、全校児童で縦割りのグループを作り、清掃活動やのびのびタイムと呼ばれるロング昼休みの遊びを行い、みんなで仲良く生活しています。

また、すべての教育活動を通して「児童の表現力を高める」ことを目指して取り組んでいます。特に、英語学習に力を入れ、朝の「English Time」には、英語に慣れ親しんだり、コミュニケーション力を高めたりしようと日頃から楽しく活動しています。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、制限された中での学校生活ですが、これからも、家庭や地域の皆様とともに、子供たち一人一人が輝ける学校を目指していきます。

# こんなことが決まりました

## 令和3年第2回定例会 議決一覧表

事件の番号	件名	内容	議決月日結果
報告第1号	専決処分の報告について「損害賠償について」	市有車の接触事故による損害賠償金の支払いについて専決処分したもの	6.4 報告のみ
報告第2号	令和2年度下妻市一般会計繰越明許費繰越計算について	令和3年第1回定例会等において、防災行政無線屋内受信機整備事業など繰越明許の議決をされた事業について、地方自治法施行令の規定に基づき報告するもの	6.4 報告のみ
報告第3号	令和2年度下妻市水道事業会計継続費繰越計算について	水道事業会計継続費繰越計算について、地方公営企業法施行令の規定に基づき報告するもの	6.4 報告のみ
報告第4号	令和2年度下妻市下水道事業会計予算繰越計算について	下水道事業会計予算繰越計算について、地方公営企業法の規定に基づき報告するもの	6.4 報告のみ
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて「下妻市市税条例等の一部改正について」	地方税法等の一部改正に伴い、固定資産税（土地）の負担調整措置を延長するなど、下妻市市税条例等の一部を改正することについて専決処分したもの	6.4 承認
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて「令和3年度下妻市一般会計補正予算（第2号）について」	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給することが閣議決定されたことを受け、当該給付金（ひとり親世帯分）を早急に支給するため、その経費について専決処分したもの	6.4 承認
議案第31号	下妻市SDGsに基づく持続可能なまちづくり推進条例の制定について	持続可能な地域社会を築くため、市が行う施策にSDGsを取り入れるなど、SDGsに基づくまちづくりを市民との協働により推進することについて規定するもの	6.16 原案可決
議案第32号	下妻市職員定数条例の一部改正について	今後の行政需要や地方公務員の定年延長を見据え、適正かつ弾力的な職員配置を行うため、職員定数を変更するもの	6.16 原案可決
議案第33号	下妻市押印を求める手続の見直しのための関係条例の整理に関する条例の制定について	条例で定める行政手続のうち、押印や署名を義務付けている手続について、見直しを行うもの	6.16 原案可決
議案第34号	令和3年度下妻市一般会計補正予算（第3号）について	プレミアム付商品券発行事業費の計上等により4億6,591万7,000円を増額するもの	6.16 原案可決

## 議員提出議案等

意見書第1号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書	医療、介護、福祉に十分な財源確保を行い、地域の声を踏まえた医療体制の充実などを求める意見書を国に提出するもの	6.16 原案可決
--------	-----------------------------------	--	--------------



請 願 ・ 陳 情			
令和2年 請願受理番号 第4号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める 意見書に関する請願書	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を国の関 係機関に提出することを求めるもの	6.3 趣旨採択
陳情受理番号 第1号	砂沼湖畔道に関する陳情書	下妻市民の憩いの場である砂沼湖畔道の再整備を求め るもの	6.16 趣旨採択
請願受理番号 第2号	「安全・安心の医療・介護の実現と国民 のいのちと健康を守るための意見書」 を国に提出することを求める請願書	医療、介護、福祉に十分な財源確保を行い、地域の声 を踏まえた医療体制の充実などを求める意見書を国の 関係機関に提出することを求めるもの	6.16 採 択
請願受理番号 第3号	新型コロナ禍による米危機の改善を 求める請願	コロナ禍で生まれた市場に滞留する在庫を政府が買 取るなどの需給環境の改善及び米価下落に歯止めを かけることなどを求める意見書を国の関係機関に提 出することを求めるもの	6.16 継続審査

令和3年 第2回定例会 賛否が分かれた案件

事件の 番号	浅野 通生	木村 穂摘	程塚 智則	鈴木 牧	端 茂樹	宇梶 浩太	矢島 博明	岡田 正美	塚越 節	程塚 裕行	斯波 元気	小竹 薫	廣瀬 榮	原部 司	須藤 豊次	山中 祐子	増田 省吾	田中 昭一	平井 誠	篠島 昌之	結 果
議案 第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	欠	×	○	可決

※○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 棄：棄権  
 ※除斥とは、自己の一身上に関する事件について議事に参与できないこと  
 ※議長（廣瀬 榮）は採決に加わりません

議長就任のあいさつ



議長 廣瀬 榮

市民の皆様には平素より市議会に對しまして、特段のご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

このたび私は、6月議会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、その職責の重さに、改めて身の引き締まる思いでございます。もとより微力でございます

が、市議会に課せられた使命の重大さを痛感し、新たな決意と信念を持って、公正かつ円滑な議会運営と市政の伸展に、議会の代表として全力を傾注してまいります。

また、市民の皆様方をはじめ、議員各位のご協力を得ながら、執行部とは緊張感を持って向かい合い、両輪が切磋琢磨しながら、自ら研鑽を深め、市民の皆様により一層信頼いただける議会を目指してまいります。

今後とも、市議会への一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

政治倫理推進委員会報告

田中昭一議員に「厳重注意」の措置

下妻市議会議員政治倫理推進委員会は、田中議員に関する6月12日付発行の新聞記事に掲載された廃棄物処理法違反について、下妻市議会議員政治倫理推進委員会において慎重に審査した結果、廃棄物処理法違反の事

実確認ができたことから、政治倫理遵守事項の規定に違反する行為と確認されたため、審査後の措置の規定により、田中昭一議員に対し、「厳重注意」の措置をいたしました。

# 意見書

第2回定例会で議員提案された下記の意見書を可決し、関係大臣あてに提出しました。

## 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書

2020年の新型コロナウイルスによるパンデミック(感染爆発)は、日本国内でも大きな影響を広げました。経済活動や国民生活にも深刻な影響を及ぼすと共に、「医療崩壊」などが取りざたされ、国民のいのちと健康が脅かされる事態が広がりました。この感染症対応の経験から明らかになったことは、感染症病床や集中治療室の大幅な不足や、それらを中心的に担っている公立・公的病院の重要性、医師・看護師・介護職員の人員不足、保健所の不足問題などです。これらの諸問題の背景には、90年代後半から続いてきた医療・介護・福祉など社会保障費の抑制策や公衆衛生施策の縮減があります。

21世紀に入り、わずか20年の間に、SARS、新型インフルエンザ、MERS、そして今回の新型コロナウイルスと、新たなウイルス感染とのたたかいは短い間隔で求められ、今後も新たなウイルス感染への対応が必要になることは明らかです。

新型コロナウイルス感染対策の教訓を経て、国民のいのちと健康、暮らしを守るためにも、そして新たなウイルス感染や自然災害などの事態の際に経済活動への影響を最小限に抑え込むためにも、医療・介護・福祉、そして公衆衛生施策の拡充は喫緊の課題です。

私たちは、国民が安心して暮らせる社会実現のために、下記の事項を要請します。

### 記

1. 今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。
2. 公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。
3. 安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員すること。
4. 保健所の増設・保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。
5. 社会保障に関わる国民負担軽減を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年6月16日

下妻市議会

(提出先)

内閣総理大臣 菅 義偉 殿  
厚生労働大臣 田村 憲久 殿  
財務大臣 麻生 太郎 殿  
総務大臣 武田 良太 殿

令和三年第二回定例会

一般質問通告書

今定例会では、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、一般質問の時間を60分から40分に短縮して行われ、15名の議員から市政各般についての一般質問が展開されました。要旨は、次のとおりです。



一般質問の  
YouTube  
録画配信

一般質問者の氏名・項目は  
次のとおりです。  
(通告順)

- 1 鈴木 牧 議員
  - 1 公民連携のまちづくりについて
- 2 端 茂樹 議員
  - 1 オリジナルピク・パラリンピック推進事業について
- 3 宇梶 浩太 議員
  - 1 学校教育における『道徳』の授業について
  - 2 スクールサポートセンターについて
  - 3 市長の施政方針について
- 4 須藤 豊次 議員
  - 1 令和3年度における施政の基本方針と市政運営について
- 5 平井 誠 議員
  - 1 デジタル弱者にも安心な市政を求めて
  - 2 市民にとって相談しやすい、頼れる市政について
  - 3 高齢者補聴器購入費助成制度の新設を求めて
- 6 岡田 正美 議員
  - 1 運転免許更新、ワクチン接種など高齢者に優しい社会の構築について
- 7 斯波 元気 議員
  - 1 広域避難計画の策定状況について
  - 2 サンビーチ跡地について
  - 3 水道管の老朽化対応状況は
- 8 山中 祐子 議員
  - 1 断らない相談支援について
  - 2 ラインアップリ・防災アプリ等の利用促進について
  - 3 「生理の貧困」について
- 9 塚越 節 議員
  - 1 新庁舎建設に伴いNearLYZEBに挑戦すべきである
  - 2 庁舎内にデジタル社会対応部門の早急な設立を望む
  - 3 職員再任用制度の活用を進めよ
- 10 原部 司 議員
  - 1 下妻市職員の働き方改革と業務の内容について
  - 2 市役所職員の採用について
- 11 矢島 博明 議員
  - 1 令和4年1月開催予定の“成人のつどい”における諸条件について
  - 2 新型コロナウイルスワクチンの接種後の状態と優先接種について
- 12 浅野 通生 議員
  - 1 災害を想定した本市の防災
- 13 木村 穂摘 議員
  - 1 買い物弱者対策支援について
- 14 程塚 智則 議員
  - 1 マル福の所得制限撤廃・受給対象者の拡大について
- 15 小竹 薫 議員
  - 1 慰霊祭について
  - 2 児童生徒の安全について

対策について

※令和2年第3回定例会から、インターネット映像配信サービス「YouTube」を利用して一般質問の録画配信を始めました。





鈴木 牧 議員  
【二括方式】

### 公民連携のまちづくりについて

#### 質問

下妻市公民連携まちづくり構想砂沼戦略について、策定の経緯や目的、また、構想に公共空間の活用や必要であればルールを変えることとあるが、公園などでキッチンカー営業が行えるよう制度を改善できるか伺う。さらに構想の実現に向け、今後の取組みについて見解を伺う。

#### 答弁

本構想は平成30年度より取り組んできた地方再生コンパクトシティモデル事業において、市民参加型によるワークショップなどを経て策定したもので、砂沼を中心に暮らしと産業をつくり直し、公共と民間が互いに投資し合い、砂沼エリアの価値を高め、10年後に持続可能かつ豊かな暮らしを実現することを目的としたものである。

キッチンカー営業が行えるよう制度が改善できるかについては、市営公園の場合、下妻市都市公園条例の改正や、使用に当たってのルールやガイドラインの整理が必要であり、県営公園の場合、そのほかに茨城県との協議も必要となるので、検討し実現に向けて進めていきたい。

本年度は、公民の様々な関係者が同じテーブルで議論できる砂沼戦略公民連携プラットフォームを設置し、本構想に位置づけた民間主導、行政支援の公民連携による事業を推進する体制を構築し、今後、本構想を活用し、砂沼を中心とした公民連携まちづくりを推進していく。



昨年度観桜苑において実施された社会実験の様子



端 茂樹 議員  
【二問一答方式】

### オリンピック・パラリンピック推進事業について

#### 質問

東京オリンピック・パラリンピックにおいてアフリカ・ブルンジ共和国選手団をホストタウンとして本市が受入れ協定書を締結したが、全体のプロセスを伺う。

#### 答弁

ブルンジ共和国選手団をホストタウンとして受入れる目的は、東京オリンピック・パラリンピックを契機とする地域活性化の推進と国際交流を図ることである。令和3年1月27日、選手支援のための相互協力及び持続的友好関係促進に関する覚書をオンラインで締結し、その後、千代川中学校2年生を対象にブルンジ共和国に関するオンライン講演会を実施したほか、下妻地区の学校給食にブルンジ風料理を提供する

など、交流事業を進めている。

事前キャンプについては、7月中旬以降、選手団を迎え、ピアスパークしもつまを活動拠点とし、大会直前に選手村まで送る計画で、感染症対策として、PCR検査を選手は毎日、付き添い等のスタッフは4日に1回実施する予定である。交流については、感染拡大防止の観点から、事後の交流を実施する予定で、民間団体「ブルンジ選手団支援委員会」が主体となり、スポーツ交流をはじめ、下妻の農業や伝統芸能に触れる体験などを計画している。なお、感染状況によって中止となることも想定している。今後、広報しもつまやホームページ等で周知していきたい。



ブルンジ共和国に関するオンライン講演会の様子



宇梶浩太 議員

【一問一答方式】

学校教育における『道徳』の授業について

**質問** 学習指導要領の改訂があり、『特別の教科 道徳』となったが、どのような変化があったか、また、市独自の道徳教育や効果的な指導方法について見解を伺う。

**答弁** 道徳が教科化され、今年で小学校は3年目、中学校は2年目になる。教科化されても、道徳教育は道徳の時間だけでなく、学校の教育活動全体を通じて行うこととしており、道徳の授業はその中心であり、年間35時間行うこと、そして児童生徒の道徳性を養うという目標に変わりは無い。制度としては教科書を主に使用すること、評価をすることの2点が変わった。

道徳の評価は、他の児童生徒と比較した数値での評価ではなく、

一人一人の道徳性に係る成長を認め励ます評価であり、それを分かりやすく文章で記載している。

各学校では、道徳科の時間が豊かな心と将来への夢を育む時間になるよう授業改善を図り、以前の読み物教材の登場人物の気持ちを読み取ることに終始してしまいうような授業ではなく、様々な立場や状況を踏まえて、本音で語り合い、自己の生き方についての考えや自覚を深められるような授業、「考え、議論する道徳」を目指している。また、各校には道徳教育を核となつて進める役割の道徳教育推進教師がおり、その教師を中心として校内研修の充実を図るなど学校全体で取り組んでいける体制を整えている。



道徳の授業の様子（下妻中学校）



須藤豊次 議員

【一問一答方式】

令和3年度における施政の基本方針と市政運営について

**質問** 基本方針の第1に、市民が主役のまちづくりとある。現在、砂沼サンビーチ跡地について、県予算で利活用調査等が進められ、県と市が連携しながら検討している状況だが、広報してもつま5月号に、キャンプ施設等が決定したかのように掲載している。市民の声が反映されていない状況にあると思うが、市長の見解を伺う。

**答弁** 昨年度県予算にて実施の砂沼サンビーチ跡地利活用調査事業において、キャンプ場を核としたアウトドア複合施設が提案された。

この住民説明会を本年3月に市立図書館にて実施し、会場57名、オンライン41名の合計98名の参加

があった。また、6月に砂沼周辺エリアのまちづくり説明会を2回開催し、出された意見等は県へ報告し事業を進めていく予定である。限られた財源を効果的に使つて、

持続可能なまちづくりを進めていくことが課題であり、住民に望まれた行政サービスを効果的に提供するには、市民への丁寧な説明が非常に重要であると考えており、どこでも市長室を昨年も開催して市民の声を肌で感じている。施策や事業ごとに市民への周知方法については、受け手の視点に立った分かりやすく効果的な情報発信を行うとともに、より多くの市民の声を聞く機会を今後も継続し、まちづくりに反映していきたい。



茨城県から提案された砂沼サンビーチ跡地の計画案





平井 誠議員  
〔括方式〕

市民にとって相談しやすい、頼れる市政について

質問

税金、保険料の滞納は市民のSOSとキャッチできる市役所となるよう、本市の取組みを伺う。

また、市役所職員を増やし、部署にとられず市民の相談を受ける専門員を置けないか見解を伺う。

答弁

税金や保険料を納期限までに納付できない方には、督促状を送付し相談の機会を設けている。督促状を送付しても何の連絡もない方については、催告書、差押予告書等の通知を出し、再度相談の機会を設け、それでも連絡がない場合は、実態調査や財産調査を行い、段階的に滞納整理へ移行している。

また、これらの調査だけでは実情が把握できないので、連絡があ

った時点でまず来庁を促して納税相談を実施し、収入や生活実態の聞き取りを行い滞納状況を十分に把握したうえで、納付が困難と認められる場合には滞納処分執行停止を行うなど、納税能力を踏まえ、生活困難に陥らないよう個別の事情に応じた納付計画を立てている。なお、収入が少ないなど、生活の逼迫を始めとした相談を受けた際には、関係課及び関係機関の相談窓口への取り次ぎを併せて行うなど、個々の実情に応じた対応にも努めている。

市民生活の総合的な相談窓口の設置や相談専門員の配置等については、先進事例などを参考に研究していき、より市民に寄り添った対応がとれるよう職員の適正配置に努めていきたい。



相談窓口の設置や相談専門員の配置等について、先進事例などを参考に研究していく



岡田正美議員  
〔括方式〕

運転免許更新、ワクチン接種など高齢者に優しい社会の構築について

質問

運転免許更新は市の施策ではないが社会問題である。また、新型コロナウイルスワクチン接種予約では、ネット社会に参加できない高齢者は電話も繋がらず不自由だったようである。改善や方針など、本市の見解を伺う。

答弁

運転免許の更新は、年齢により認知機能検査・高齢者講習を予約し受けるが、これらの手続きなどで負担が増加していると思われる。現在苦情などは寄せられていないが、要望等を聞いた場合には、下妻警察署や関係機関に情報提供を行い、情報共有を図っていく。

ワクチン接種は、市民の命を守

るため、一刻も早く多くの方が受けることを重視し推進してきた。高齢者の予約が混乱した原因として、ワクチン供給が不確定だったこと、国から65歳以上の高齢者全員への早期接種券送付の指導があり一斉送付したこと、コールセンターでの対応に予想以上の時間を要したことが挙げられる。

改善策として、コールセンターの人員を増やし、電話予約枠をあらかじめ確保するなどし、本市の接種状況は、県内でも順調に進み、高齢者の方の接種は7月中旬に概ね終了する。今後、1回も予約が取れない高齢者の方に対して、6月下旬から予約代行支援を保健センター窓口で行い、その周知については全戸配布する予定である。今後も高齢化社会にも対応できる広報の仕方や施策を講じていく。



県内でも順調に進んだ高齢者へのワクチン接種





斯波元氣 議員

【一問一答方式】

サンビーチ跡地について

質問

県からアウトドア複合拠点が提案されたが、民間、県、市3者の運営はどのようになるのか、公共施設等総合管理計画の問題は無いのか伺う。

また、根本に立ち返って、県による公設民営でレジャープールとしての再生が望ましいと考えるが、見解を伺う。

答弁

昨年度県予算にて実施の砂沼サンビーチ跡地利用調査事業は民設民営を前提に調査、検討され、キャンプ場を核としたアウトドア複合拠点が提案されたが、キャンプ場に併設する施設等は公設を含めた検討が必要であると報告された。

下妻市公共施設等マネジメント基本方針に、新規整備は原則として行わないと示されているが、本事業については県と市が一体とな

って事業を進める連携事業の側面もあり、市負担による施設整備の必要が生じた場合には、国の交付金活用や民間事業者から得られる施設の賃借料利用収入により、初期投資や維持管理費がおおむね回収できるような事業スキームの構築を県と協議していく。

県は、レジャープールとしての再生について、民設民営の条件では進出の考えのある事業者は見つからず、また、市場規模の縮小が想定される中、多額の初期投資を要する施設で民間事業者からの投資回収は困難であると想定されるため、市による公設の考えのない中で、県においてもプールを整備する意向はないとしている。



キャンプ場を核としたアウトドア複合拠点が提案された砂沼サンビーチ跡地



山中祐子 議員

【二括方式】

「生理の貧困」について

質問

大学生たちでつくる任意団体「#みんなの生理」の学生を対象とした調査から、生活困窮を背景に生理用品の購入に負担を感じる方が、若者の5人に1人いる実態が明らかになった。

本市の生活困窮者に対する対応について、また、小・中学校での対応について伺う。

答弁

長引くコロナ禍による不況が非正規雇用の女性を中心に深刻化するなか、経済的困窮により生理用品を買えない問題が浮上している。

生活困窮者に対する本市の対応としては、生理用品を購入し、福祉課、子育て支援課及び下妻市社会福祉協議会に備蓄し、必要な方に生理用品を配布できる体制を整えている。今後も、相談者の生活状況に応じた適切な支援につなげ

られるよう努めていきたい。  
小・中学校については、「生理の貧困」について報道があった後、早速調査を行い、その結果、そういった相談はこれまでなかったが、今後、相談があった場合に備えて、保健室に生理用品の備蓄をしている。

女子児童生徒を含めた女性にとって生理は日常である一方で、生理に関する話は個人的な面もあり、公の場で話すことが難しいのが現状である。保健室を中心とし、児童生徒の不安や悩みに寄り添っていきけるように引き続き対応について工夫しながら、体制を充実させていきたい。



相談があった場合に備えて、各小・中学校の保健室に生理用品を備蓄している



塚越 節 議員

【一問一答方式】

**庁舎内にデジタル社会  
対応部門の早急な設立  
を望む**

**質問** 本年9月1日「デジタル庁」の新設を柱とする「デジタル改革6法」の成立の流れをどのように見据えているか。今後の本市の対応を伺う。

**答弁** 行政機関におけるデジタル技術の活用を推進するため、関連6法が本年5月19日に公布された。これらは、行政のデジタル化を推進するためのデジタル庁の設置を柱とし、行政手続における押印・書面手続の見直し、マイナンバーによる情報連携の拡大などが盛り込まれ、デジタル技術の活用により経済の持続的かつ健全な発展と国民の幸福な生活の実現を目指すものである。本市のデジタル化の実績として



デジタル技術の活用による市民サービスの向上について調査研究していく

は、情報発信の強化としてホームページにおけるツイッターとの連携や視覚障害者のための音声読み上げ機能の追加のほか、LINE公式アカウントによる行政情報の発信、また、市民の利便性向上のため、昨年度から市税等の収納にキャッシュレス決済を導入したほか、住民票等のコンビニ交付を開始した。さらに教育ICT環境の実現のため、小中学校に一人一台のタブレット端末や高速大容量通信ネットワークを整備した。今後とも、デジタル技術の活用による市民サービスの向上について引き続き調査研究するとともに、専門部署の早急な設置について積極的に検討していく。



原部 司 議員

【一括方式】

**下妻市職員の働き方  
改革と業務の内容について**

**質問** 市職員の業務は多岐にわたり細分化されており膨大になっていると思われる。正規職員の負担増加と非正規職員増による業務の継承や職務分担のバランスなど現状を伺う。

**答弁** また、コロナ禍の中、職員の業務幅が増えていると思われるが、時間外労働や休日出勤に対する現状をどう認識し対応していくのか、残業手当や有給休暇はどうなっているか伺う。

**答弁** 正規職員と非正規職員の職務分担の現状は、近年、住民ニーズの高まりを受け、市職員の業務は増加・高度化してきている。その業務を行う職員の補助的な役割として会計年度任用

職員を任用しており、これらの職員を含めた職員の異動については、前任者との連携による引継ぎのほか、所属内の協力体制により円滑な業務の継承に努めている。

コロナ禍の中、職員の業務については、通常業務に加え、新型コロナウイルス関連業務も実施しており、時間外勤務や休日勤務が増加傾向にある。このようなことから、特に業務が増大している担当課については、業務量に応じた人員の加配や、職員の流動体制による他部署からの応援職員の配置などを行った。

今後も、業務の安定的継続と職員の体調面に配慮し、柔軟に対応していきたい。



業務の安定的な継続と職員の体調面に配慮し、柔軟に対応していく





矢島博明 議員  
【一問一答方式】

新型コロナウイルスワクチンの接種後の状態と優先接種について

質問

ワクチンの接種で期待する体内の変化について伺う。

また、成人のつどい対象者や、受験、就職などの時期にある年代、防災に携わる市職員及び消防団員等への優先接種の可能性について伺う。

答弁

ワクチンの効果には、発症予防の効果や感染しても重症化を防ぐ効果に加え、多くの人がウイルスへの抗体を持つことで社会全体が守られる集団免疫の効果があるとされ、本市においても市民の命を守るため、多くの方に早く接種してもらえよう、スピード感を持って進めている。現在、本市として先行接種を決

定しているものについては、市長、副市長の接種で、これは危機管理指揮官としての代替がないことや出水期前に接種をすべきと判断したもので、第34回下妻市新型コロナウイルス感染症対策本部会議にて決定している。

防災従事者や消防団員、本年度の成人のつどい対象者、受験をする年代への先行接種については、現時点では国より示された先行接種の対象者に含まれていないことや、重症化リスク、また社会生活を送るうえで必要不可欠なライフラインを維持する職業のエッセンシャルワーカーが未だ接種が進んでいない現状であることから、今後、国の動向等を踏まえて検討していきたいと考える。



エッセンシャルワーカーへの先行接種について、国の動向を踏まえ検討していく

災害を想定した本市の防災対策について



浅野通生 議員  
【一問一答方式】

質問

大規模災害時、市民は市役所にいち早い情報提供を望んでいる。そこで、従来は防災無線が情報の発信方法だが、新たな取組みとして、現在使用している防災アプリやLINEなどで、避難所の定員に空きがあるなど詳細がわかるような、また必要な情報が即座に反映可能な市民目線でのアプリ活用の実施、運営などの対策はあるか伺う。

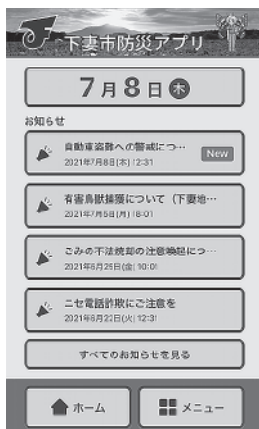
答弁

現在の防災アプリは避難所の開設状況の表示をすることは可能であるが、収容人数に空きがあるかどうか表示することはできない。また、市の公式LINEについては、メッセージの配信や市ホームページへの誘導などで運用しているところであり、

ホームページに掲載した避難所の開設状況を確認することはできるが、収容人数の空き状況を確認することまではできていない状況である。

今後、避難所の空き状況等の詳細な情報の提供については、避難所の混乱や密を避けるうえでも効果が見込まれることから、防災アプリの改良等について検討していく。

また、県においても県内全域の避難所の混雑状況が把握できるシステムを導入することから、関連するシステムとの連携についても具体化を図っていきたいと考えている。



避難所の空き状況等の情報提供について、現在運用している防災アプリの改良等を今後検討していく





木村穂摘 議員

【一問一答方式】

### 買い物弱者対策について

#### 質問

国内の買い物弱者は益々増え2025年には一千万人を超えと言われていて、そこで、本市の買い物弱者の現状と現在の対策支援、また今後の対策支援について伺う。

#### 答弁

買い物弱者とは、「流通機能や交通網の弱体化とともに買い物環境が悪化し、食品等の買物が困難な状況に置かれている人」と経済産業省の定義にあるが、所轄官庁ごとに捉え方が異なり、本市でも人数等は把握できていないが、昨年度実施のアンケート調査に、移送サービスや、通院や買物への外出同行支援への要望があり、今後の高齢化に伴い支援のニーズはさらに高まることが予想される。

現在の支援対策は、家事支援事業を下妻市社会福祉協議会の在宅福祉サービスセンター「あおぞら」が実施し、令和2年度は延べ433人の利用があり、本年度から新たな高齢者生活支援事業を実施する予定である。また、外出支援事業として、高齢者福祉タクシー利用料金助成事業を実施し833人に交付した。

今後、買い物支援事業として移動販売事業を事業者に委託し実施予定である。運行は週5、6日、1日当たり10か所程度、最大で市内60か所程度の停留所を想定し、停留場所については、地域の既存商店へ配慮しつつ、地域の福祉事情に精通する自治区長や民生委員の皆様要望調査を行い、選定を進めていく予定である。



買い物支援事業について、高齢者等を支援するため、本年度の実施を予定している



塚塚智則 議員

【一問一答方式】

### マル福の所得制限撤廃・受給対象者の拡大について

#### 質問

マル福（医療福祉費支給制度）は、妊産婦・小児・ひとり親・重度心身障害者であるが、所得制限のため対象とならない市民もいる。

市民の福祉向上、都市間競争の時代に子育て世代に住んでもらえる都市となるため、所得制限を撤廃すべきではないか見解を伺う。

#### 答弁

本年4月1日現在、県の医療福祉対策実施要領に定める所得制限を撤廃または一部撤廃しているのは、妊産婦が18市町村、小児が37市町村、ひとり親家庭が3市、重度心身障害者等が4市町村になる。なお、県内で医療費を無償化しているのは妊産婦が3市町村、小児が5市町村で

ある。

本市は本年度、妊産婦及び未就学児の医療費の無償化を実現し、所得制限については平成28年度に同マル福の基準額を200万円以上引き上げ、特に子育て世代に対し重点的な負担軽減策を講じている。所得超過により支給対象とならない方は、本年6月1日現在、すべてのマル福対象者7789人中、307人、4%で、このうち小児については136世帯になる。

所得制限の撤廃等については、県議会においても財政状況や他県の動向などを勘案しながら慎重に検討していくと答弁があり、今後、県が撤廃する場合には速やかに実施する。

マル福制度については、限られた財源を有効に活用し子育て世代に訴求する施策を講じていきたい。



マル福制度については、限られた財源を有効に活用し、子育て世代に訴求する施策を講じていく



小竹 薫 議員  
【一問一答方式】

## 児童生徒の安全について

### 質問

運動時のマスク着用について、全国的にみると、運動中に倒れている生徒がいる。また、児童がヘルメットを着用して登下校をする際、ヘルメット内に熱がこもり、軽い熱中症になる。本市の対応を伺う。

### 答弁

運動時のマスク着用については、スポーツ庁や文部科学省からの通知において、体育の授業におけるマスク着用は必要でないこと示されており、本市でも国の通知に則り実施し、また授業以外でも、部活動や小学校の休み時間に外で走り回る場合などは、内容に応じてマスクを外すよう指導し、教職員には児童生徒をよく観察し、適宜外させるよう指導している。

登下校中の熱中症対策について



登下校中に適宜休憩し、ヘルメットを外して給水するなど指導している

は、文部科学省の通知等に基づき県教育委員会作成のガイドラインに、水筒を持参し交通安全に配慮し給水する、帽子・半袖体操服着用等服装の配慮、マスクを外すこともできることが示されており、これらを適切に講ずるよう各学校に周知徹底を図り、ヘルメット着用の学校については、途中で日陰などで適宜休憩しヘルメットを外し給水するなど指導している。また、昨年度から体を冷却するクールタオルを全児童生徒に配付し、小学生には傘の活用も働きかけている。各校では、下校時の暑さ指数を確認し、下校時刻の調整を行うなど必要な対策を取っている。

# 議会日誌

## 5月

14日 オンライン行政視察受入  
(長野県安曇野市議会)

18日 月例会

全員協議会

議会運営委員会

31日 議会運営委員会

## 6月

3日、16日

第2回下妻市議会定例会

3日 本会議 議案上程、説明

4日 本会議 議案質疑

総務委員会

7日 文教厚生委員会

8日 経済建設委員会

9日 予算特別委員会

庁舎等建設に関する調査特別委員会

別委員会

11日 本会議 一般質問

14日 本会議 一般質問

議会運営委員会

16日 本会議 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

議会運営委員会

第1回広報広聴委員会

## 7月

28日 議員政治倫理推進委員会  
議員政治倫理推進委員会

7日 全国市議会議長会地方財政委員会

15日 茨城県西市議会議長会事務局長会議

20日 月例会

全員協議会

議会運営委員会

27日 第2回広報広聴委員会

茨城西南地方広域市町村圏事務組合議会臨時会

28日 茨城県後期高齢者医療広域連合議会第1回臨時会・全員協議会

第1回広報広聴委員会

第2回広報広聴委員会

茨城西南地方広域市町村圏事務組合議会臨時会

茨城県後期高齢者医療広域連合議会第1回臨時会・全員協議会

第1回広報広聴委員会

第2回広報広聴委員会

茨城西南地方広域市町村圏事務組合議会臨時会

茨城県後期高齢者医療広域連合議会第1回臨時会・全員協議会

## 永年勤続議員表彰

令和3年度の全国市議会議長会定期総会及び茨城県市議会議長会定例会において、市議会議員の職15年以上勤続の議員活動を通じて、永年地方自治の発展と市政の振興に貢献された功績により、原部司議員が表彰されました。



## オンライン行政視察の受け入れを行いました

長野県安曇野市議会福祉教育委員会からの依頼を受け、本市議会で初となるオンラインによる行政視察の受け入れを行いました。

視察内容に基づき、学校教育課より学校プログラムに関する取組について説明後、活発な質疑応答が交わされました。



## 次回第3回定例会予定

月 日	曜日	日 程
9月2日	木	本 会 議 会 (会期の決定・諸報告・議案上程、説明)
9月3日	金	本 会 議 (議案質疑) 常任委員会 (総務委員会)
9月6日	月	休 会 常任委員会 (文教厚生委員会)
9月7日	火	休 会 常任委員会 (経済建設委員会)
9月8日	水	休 会 予算特別委員会 (補正予算) 決算特別委員会
9月9日	木	休 会 決算特別委員会
9月10日	金	休 会 決算特別委員会
9月14日	火	本 会 議 一般質問
9月15日	水	本 会 議 一般質問
9月17日	金	本 会 議 (議案及び請願・陳情に対する委員長報告、質疑・討論・採決) 閉 会

※会期日程は、都合により変更になることがあります。

## 議会を傍聴しませんか

令和3年第2回定例会では、34名の方の傍聴がありました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場での傍聴を58席から24席とさせていただきました。ご協力いただきありがとうございました。

傍聴は、市議会活動に触れる良い機会です。自分が選んだ議員の活動や市政の方針などを知ることができます。

傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎3階議場までお越しください。

また、本会議開催中は、本庁舎1階市民ホールモニターで中継を行っています。(状況により傍聴をご遠慮いただくことがありますので、ご了承ください。)

なお、議場内での飲食・雑談等をご遠慮ください。次回の市議会だよりの発行は令和3年11月10日(水)の予定です。

議会だよりにのご意見などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

問合せ先

議会事務局 (0296)43-2111 (内線 1111・1112)



第2回定例会は、一般質問の質問者が15名と比較的多く、本市の様々な分野の施策について、活発な議論が行われました。コロナ禍により、議員ひとりの質問時間を通常より20分短縮し、40分間という限られた中での議論となりました。各議員が日頃の議員活動を通じて感じた疑問などについて質問し、市長をはじめとする執行部の答弁を受けました。

さて、延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが、いよいよ始まりました。本市がホストタウンとして受け入れを予定していたブルンジ共和国オリンピック選手団の事前キャンプなどは、残念ながら中止となりました。この議会だよりが市民の皆様のお手元に届く頃には、オリンピックは閉会しているでしょう。日本とブルンジはメダルを何個獲得したでしょう。この後のパラリンピックでも両国の選手が大いに活躍されるよう、市民の皆様と共に応援したいと思えます。